

中小企業あきた

- 1 本会創立60周年記念式典を盛大に開催 1
～「強い組合・強い企業づくり」への更なる邁進を誓う～
- 2 第67回中小企業団体全国大会が盛大に開催 4
～団結は力 見せよう組合の底力！組合でひろがる中小企業の発展～

12
DECEMBER.2015

○景況レポート 10月分 6

- 話題の広場
中央会事業より 8
アラカルト 9
支援団体活動レポート 9
インフォメーション 10



TOPICS



本会創立60周年記念式典を盛大に開催

～「強い組合・強い企業づくり」への更なる邁進を誓う～



11月12日(木)、秋田市の「秋田キャッスルホテル」において、本会の創立60周年記念式典を来賓や会員組合等372名出席の下で開催し、創立60周年の節目を盛大に祝いました。

当日は、記念式典に先立ち、ジャーナリストの櫻井よしこ氏を講師に招き「今、日本が直面する内外の課題」をテーマに記念講演会を開催し、桜井氏が見据える今後の日本の将来について、明解かつ歯に衣着せぬ語り口で力強くご講演をいただき、参加者は熱心に聴講していました。

また、記念式典では、国歌斉唱に続き本会藤澤正義会長より式辞が述べられました(式辞の内容は後掲)。

引き続き、これまで中央会の発展に多大なご尽力を賜った歴代会長の米澤實氏(第9代会長)に藤澤会長より感謝状が授与されたほか、優良組合7組合と組合功労者7名に対し中小企業庁長官表彰ならびに東北経済産業局長表彰、秋田県知事表彰、全国中小企業団体中央会会長表彰が、また、5組合に対し秋田県中小企業団体中央会会長感謝状がそれぞれ授与された後、来賓を代表して守本憲弘東北経済産業局長ならびに佐竹敬久秋田県知事、大村功作全国中小企業団体中央会会長(代理：高橋晴樹専務理事)より会員組合及び組合員企業のさらなる発展を祈念する旨の祝辞が述べられ、記念式典は厳かな雰囲気の中、滞りなく終了しました。

なお、記念式典終了後には記念祝賀パーティーを盛大に開催し、来賓を代表して三浦廣巳秋田県商工会議所連合会会長ならびに村岡淑郎秋田県商工会連合会会長より祝辞が述べられた後、門田光司株式会社商工組合中央金庫取締役常務執行役員による乾杯のご発声で開宴しました。

記念祝賀パーティーでは、終始和やかな雰囲気の中、参加者同士が昔の思い出話や近況について語り合うなど歓談の輪が随所で見られ、最後は、本会平澤孝夫副会長の音頭により創立60周年と今後の発展を祈念し力強く万歳三唱が行われ、盛会裡に閉宴しました。



〔式辞を述べる本会藤澤会長〕

記念講演会

テーマ：「今、日本が直面する内外の課題」

講師：ジャーナリスト 櫻井 よしこ 氏



[記念講演会の様子]



[講演する櫻井よしこ氏]

記念式典



[祝辞：守本東北経済産業局長]



[祝辞：佐竹秋田県知事]



[祝辞：大村全国中小企業団体中央会会長
(代理：高橋専務理事)]

記念祝賀パーティー



[開宴挨拶：本会桑原副会長]



[祝辞：三浦秋田県商工会議所
連合会会長]



[祝辞：村岡秋田県商工会
連合会会長]



[乾杯：門田株式会社
商工組合中央金庫
取締役常務執行役員]



[万歳三唱：本会平澤副会長]

－藤澤会長の式辞－

本日はご多忙のなか、秋田県中小企業団体中央会創立60周年記念式典の開催にあたり、会員組合の関係者はじめ多数の皆様にご出席いただき、誠にありがとうございます。

また、ご来賓として守本東北経済産業局長、佐竹知事ほか多数の皆様のご臨席を得ましたことに心より御礼申し上げます。

秋田県中小企業団体中央会は昭和30年11月に県内180組合の皆様の賛同を得まして結成され、翌年2月に設立登記されてから本年度をもって創立60周年を迎えました。

本会が設立された当時の日本は、高度経済成長期の中で下請け分業構造が形成され、大企業と中小企業の生産性や賃金などの格差が顕在化した時代でありましたが、同時に多くの中小企業が組合を組織し、相互扶助の精神のもとで、成長・発展を遂げた時代でもありました。

その後、中小企業基本法が制定され、中小企業対策が積極的に展開される中で、本会が組織化を通じた中小企業の振興・発展のためにお手伝いを続けてきたことは皆様ご承知のとおりであります。

そして現在、本県の中小企業・小規模事業者を取り巻く状況は依然として厳しいものがあります。電力料金の値上げや、輸入品を中心とした原材料価格の高騰はもとより、少子高齢化の進展による後継者不足、優秀な新卒者の確保等、様々な課題を抱えておりますが、組合・中央会・行政・関係団体が一丸となって立ち向かっていくことがますます重要となっております。

本会は、「強い組合・強い企業づくり」をスローガンに、会員336組合、並びに傘下企業の皆様方と一層強固なネットワークを構築し、秋田県中小企業振興条例の理念のもとで、本県経済の活性化のために全力を傾け、その使命を果たしてまいりますので、本日ご臨席の皆様におかれましては、これまで以上にご指導、ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

最後になりますが、本日ご列席の皆様のご益々のご健勝とご発展を祈念するとともに、本日の記念式典が、これまでの歩みを振り返るとともに、今後の発展をめざす新たなスタートとなることを願ひまして、私からの挨拶といたします。本日は、誠にありがとうございました。

栄えある受賞 誠におめでとうございます

歴代会長感謝状

(敬称略)

	氏名
第9代会長	米澤 實



[歴代会長感謝状：米澤氏]

中小企業庁長官表彰

(敬称略)

組合名	所在地	理事長名
【優良組合】 鹿角衛生協業組合	鹿角市	豊口 裕



[優良組合表彰：豊口氏]

東北経済産業局長表彰

【優良組合】 (敬称略)

組合名	所在地	理事長名
秋田県板金工業組合	秋田市	加藤美喜夫



[優良組合表彰：加藤氏]

【組合功労者】 (敬称略・順不同)

氏名	組合名	役職名
伊藤 和宏	秋田市工業団地協同組合	理事長
佐藤 和喜	秋田県花卉小売商業協同組合	前理事長



[組合功労者表彰：左から伊藤氏、佐藤氏]

秋田県知事表彰

【優良組合】 (敬称略・順不同)

組合名	所在地	理事長名
秋田県トラック運送事業協同組合	秋田市	齊藤 正敏
秋田電気工事協同組合	秋田市	布谷 博



[優良組合表彰：左から齊藤氏、布谷氏]

【組合功労者】 (敬称略・順不同)

氏名	組合名	役職名
藤澤 正義	秋田県鐵構工業協同組合	理事長
加藤 憲成	秋建協同組合	理事長



[組合功労者表彰：左から藤澤氏、加藤氏]

全国中小企業団体中央会会長表彰

【優良組合】 (敬称略・順不同)

組合名	所在地	理事長名
協同組合矢留青果	秋田市	相場 金二
秋田県自動車電装品整備商工組合	秋田市	桜庭 政光
秋田県素材生産事業協同組合連合会	秋田市	兼子 富市



[優良組合表彰：左から相場氏、桜庭氏、兼子氏]

【組合功労者】 (敬称略・順不同)

氏名	組合名	役職名
辻 篤志	あきた共通商品券協同組合	理事長
浅利 滋	秋田県味噌醤油工業協同組合	理事長
佐賀 善美	コーディネート秋田協同組合	理事長



[組合功労者表彰：左から辻氏、浅利氏、佐賀氏]

秋田県中小企業団体中央会会長感謝状

(順不同)

組合名	
秋田紙工材料商業協同組合	秋田県能代山本建設事業協同組合
秋田県基礎工事業協同組合	秋田県化粧品小売協同組合
秋田地理情報センター協同組合	



[全国大会の様子]

11月20日(金)、沖縄県宜野湾市「沖縄コンベンションセンター」において、第67回中小企業団体全国大会(主催：全国中小企業団体中央会・沖縄県中小企業団体中央会)が開催されました。

本大会は、全国の中小企業団体の代表者が一堂に会し、全国約3万の組合等が有する差し迫った意見を総意としてとりまとめ内外に広く表明するとともに、国等に対し中小企業・小規模事業者振興施策の強化を訴え、組合等連携組織を通じた中小企業・小規模事業者の安定した成長発展と豊かな地域社会の実現を図ることを目的に、毎年開催しているものです。

第67回目となる今大会は、『**団結は力 見せよう組合の底力！～組合でひろがる中小企業の発展～**』をキャッチフレーズに、政府をはじめ中央関係機関や各政党代表などの来賓や本県から参加した41名を含む、全国から約2,300名が参加しました。

大会に先立ち、全国中央会大村功作会長は、「今大会を契機に、組合制度の原点である『相互扶助の精神』のもと、団結の力を再確認するとともに、多くの都道府県中央会が創立60周年の記念すべき時期を迎える折、中小企業組合等連携組織の専門支援機関として中小企業の振興と発展に向けて邁進していくことを誓う。」と挨拶、沖縄県中央会津波古勝三会長による開催地会長挨拶、佐喜眞淳沖縄県宜野湾市長による歓迎挨拶の後、第1部である表彰式が執り行われ、本県からは、優良組合として**秋田市中企業従業員共同宿舍協同組合(佐野元彦理事長)**ならびに組合功労者として**近藤隆平氏(秋田県製麺協同組合理事長)**がそれぞれ全国中小企業団体中央会会長表彰を受賞しました。

その後、休憩をはさみ第2部が開会され、翁長雄志沖縄県知事による歓迎挨拶、星野剛士経済産業大臣政務官等来賓による祝辞の後議事に入り、小正芳史全国中央会副会長(鹿児島県中央会会長)より「人口減少が進む地域を活性化し、全国津々浦々の中小企業が景気回復を実感できるよう、経済の好循環を確実なものとする景気対策を求める。」との決議案に関する意見発表が行われ、「**景気対策、被災地を含めた地域の活性化**」、「**生産性の向上**」、「**持続的成長の促進**」にかかる全14項目について採択決議されました。

なお、来年の第68回中小企業団体全国大会は、平成28年10月19日(水)に石川県金沢市において開催される予定となっています。

～第67回中小企業団体全国大会スローガン～

1. 実感ある景気回復と被災地を含めた地域の活性化
2. 投資促進による生産性向上の加速
3. 雇用・内需を喚起する税制・金融の拡充
4. 優越的地位の濫用の根絶等公正な競争力環境の実現
5. 賑わいあるまちづくりの推進と商業・サービス業対策の拡充
6. 中小企業の実態を踏まえた社会保障・労働対策の推進

－第67回中小企業団体全国大会決議(概要)－

我が国は、原油安にも恵まれ、緩やかな回復基調にあると言われているが、人口減少・超高齢社会による構造的な需要減少に加え、中国市場の不安要素を抱えるなど、その先行きは予断を許さない状況にある。

中小・小規模事業者は、投資による生産性の向上が図れない中、人件費や仕入価格などコストの上昇に見合った価格転嫁の遅れ等により、景気回復の恩恵を受けられない厳しい状況にある。また、中小・小規模事業者が事業を営む場である地域への取組みは、個々の企業や特定の産業による牽引にとどまることが多く、地域の実情に応じた多様な主体との連携による付加価値化が求められている。

このため、地域の雇用を支える中小・小規模事業者が、連携・組織化を一層推し進め、生産性の向上や取引力の強化を図るとともに地方創生の担い手たることを示していく必要がある。

地域の産業界が集まる中小企業団体中央会は、持てる力を総動員して中小・小規模事業者と組合の持続的成長を図り、もって地域の活性化を実現するため、中核的役割を担う所存である。中小・小規模事業者と組合の活躍こそが日本経済を救う。

については、国等は、全国の会員組合等からの意見を踏まえた下記の要望事項の実現に取り組まれない。

【景気対策、被災地を含めた地域の活性化】

1. 景気対策、被災地を含めた地域の活性化
2. 中小・小規模事業者の持続的発展
3. 福島・被災地の復興の加速化

【生産性の向上】

4. 組合等連携組織等を活用した生産性の向上の強化
5. 海外展開の推進
6. 電力コストの軽減等に向けた環境・エネルギー対策の強化
7. 公正な競争環境の整備
8. 官公需対策による経営支援の強化
9. 中央会等支援体制の整備・強化

【持続的成長の促進】

10. 資金調達の円滑化等
11. 投資等を促進する税制の拡充
12. まちづくりの推進、商業対策の拡充強化
13. 社会保障制度の見直し
14. 中小企業の実態を踏まえた労働・教育対策の推進

第67回全国大会 受賞おめでとうございます

【優良組合】



秋田市中小企業従業員共同宿舎協同組合
(理事長 佐野 元彦 氏)

【組合功労者】



近藤 隆平氏
(秋田県製麺協同組合 理事長)



[本県から参加された皆様]

景況レポート

(10月分・情報連絡員80名)

景況DI値は3ヶ月ぶりに改善

～一部の業界では人材確保が課題～

【概況(全体)】

前年同月との比較による10月の県内景況は、景況が「好転」したとする業種割合が20.0%、「悪化」業種割合が27.5%で、業界全体のDI値は-7.5と前月調査と比較して16.3ポイント上回り、3ヶ月ぶりに改善した。

業種別に見ると、製造業全体のDI値は12.5と平成25年10月以来2年ぶりのプラスとなり、非製造業全体では-20.8と前月を12.6ポイント上回り、3ヶ月ぶりに改善した。

また、全国や北海道・東北ブロックと比較すると、本県は製造業のDI値が大幅に上回っており、これは、繊維製品や鉄鋼・金属が前月に引き続き好調に推移したほか、食料品や漆器等が好転するなど悪化割合が縮小した結果、製造業のDI値が大幅に改善し、業界全体のDI値を押し上げた。

【業種別の状況】

本会が調査する県内15業種のうち、前月比でDI値が改善したのは食料品製造業、建設業など7業種で、味噌醤油や清酒製造、米飯給食が前年同月比「好転」で推移した。

また、卸売業(青果)では県内産野菜の収穫等により入荷量が回復し、小売業(クレジット)では冬期に備えた家電製品の購買等により取扱高が増加した。

一方、木材・木製品や生コンクリート、建設業(一般土木工事)等では、需要の減退により業況が低調に推移した。

なお、依然として公共工事の発注をはじめとする需要の低迷や個人消費の減退が懸念材料となっているほか、人材確保が深刻な課題となっている業界も多いため、今後の動向を慎重に見極めていく必要がある。

＜全国の景況DIとの比較＞

	秋田県	全国	東北・北海道
全体	-7.5	-21.2	-15.8
製造業	12.5	-23.0	-13.2
非製造業	-20.8	-19.7	-17.3

＜景況天気図＞

項目	業界の景況	売上高	販売価格	取引条件	資金繰り	雇用人員
製造業						
非製造業						

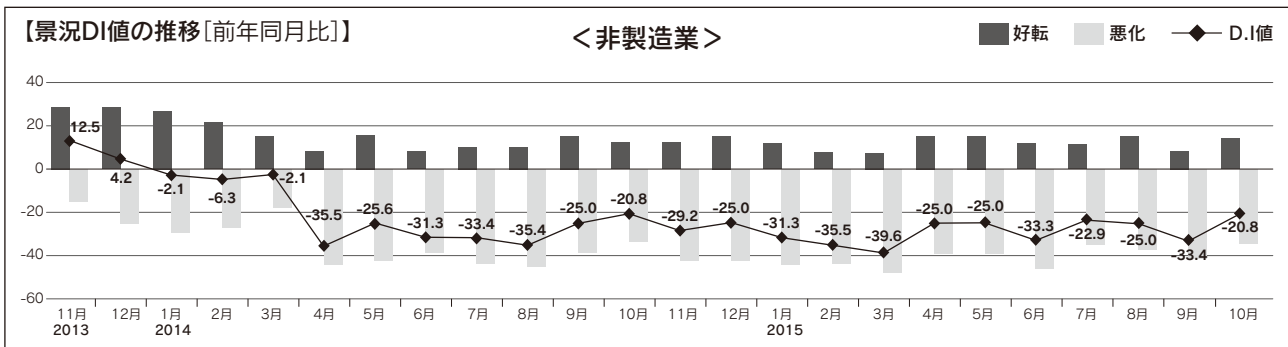
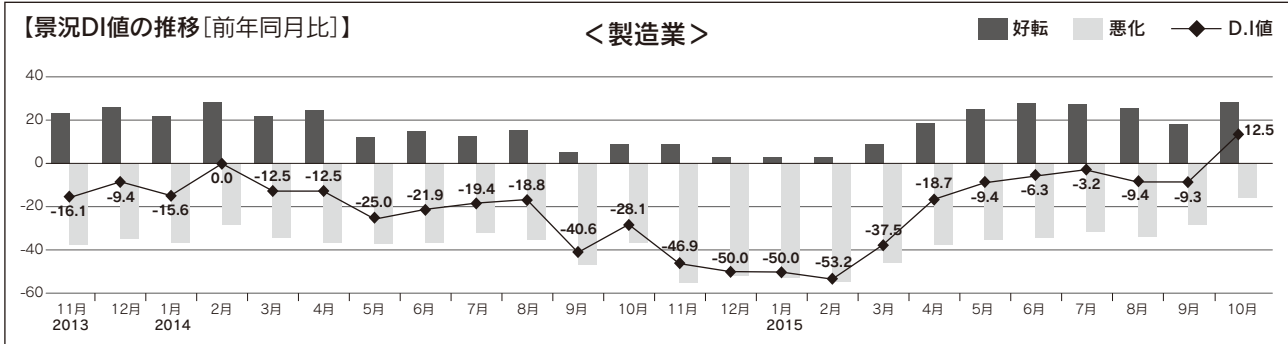
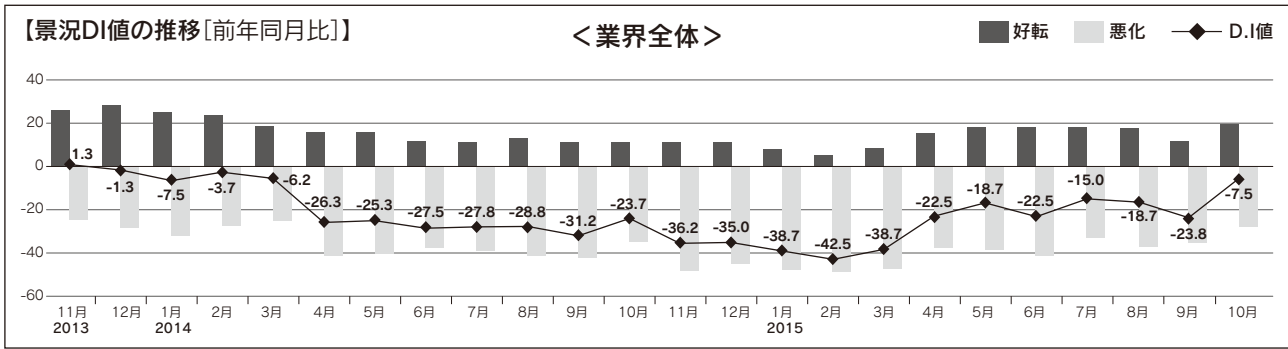
【凡例】 [天気図の見方] 前年同月比のDI値をもとに作成しています。

※DI値とは、Diffusion Index(ディフュージョン・インデックス)の略で、増加(好転)したとする企業割合から、減少(悪化)したとする企業割合を差し引いた値です。

【業界の声】 ～製造業～

(回答数：32名 回答率：100%)

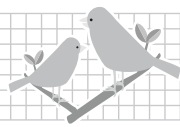
食料品 (清酒製造)	吟醸酒や純米酒が好調に推移しており、9月の清酒出荷量は、2,041,518ℓで前年同月比104.5%で推移した。また、積極的に輸出に取り組み、出荷を伸ばしている企業もある。
食料品 (パン)	10月は、連休明けにスーパーやコンビニ等におけるパンの売上が落ち込み苦戦した。なお、定年退職に伴う人員確保が迅速にいかず、全体的に人員不足の状況となっており、業務縮小を余儀なくされている企業もある。
繊維工業 (ニット)	例年10月～11月にかけて閑散期となるが、今月の受注量は前年同月を上回っており、春物の商談も順調に進んでいる。なお、人材確保及び加工賃の交渉が今後の課題となっている。
木材・木製品 (一般製材)	県内の製材需要は、公共物件が多く一般物件は低調に推移しており、景気が停滞している感がある。(県南地区)
木材・木製品 (プレカット)	10月は、幼稚園や保育所等からの受注により前年並みの受注量を確保できた。なお、住宅関連については消費税増税前の駆け込み需要による反動減が続いている感がある。
印刷	東北全体で消費の低迷が続いており、大手企業では売上等が上昇している一方、中小企業は非常に厳しい状況である。(中央地区)
窯業・土石製品 (生コンクリート)	10月の出荷数量は、前年同月比88.6%となる見通し。また、今年度の需要を地区毎に想定した結果は、674,000㎡(前年度実績比86.9%)と非常に厳しい数値となっている。
鉄鋼・金属 (機械金属)	各社とも当面の仕事を確認できており、工場の稼働率も高い状況で推移している。
一般機器 (金属加工)	10月の売上は、先月に続き前年同月を下回る結果となり、先行きは不透明である。また、取引条件も単価や納期の面で厳しい状況となっている。
その他の製造業 (漆器)	10月は、当組合の一大イベント「川連塗りフェア」が開催され、テレビ番組で川連漆器が取り上げられた反響が大きかったこともあり、前年同月比で売上、収益ともに好転した。



【業界の声】 ~非製造業~

(回答数：48名 回答率：100%)

卸 売 業 (青 果)	10月の売上は、前年同月比105.3%で推移した。豪雨被害に遭った県外産野菜の生産量も徐々に回復し、県内産野菜の入荷量も大幅に増加したため、価格は大幅落ち着いた。
卸 売 業 (米 麦 卸)	平成27年産米の集荷は、前年比80%と低迷しており、組合運営に影響が出ることを懸念している。また、輸送用トラックの確保にも苦慮している。
小 売 業 (クレジット)	10月の取扱高は、前年同月比で18%の増加となった。9月はプレミアム付き商品券の影響もあり前年実績を割り込んだが、10月は冬期に向け家電購入等の利用が増加した。(大館市)
小 売 業 (みやげ品)	10月は天候に恵まれ、地元客の出入りも多かったため、売上は前年同月比103%と3ヶ月連続で前年同月を上回った。なお、来月は低価格のツアーが多いため購買力低下と売上減少が懸念される。(仙北市)
商 店 街	業種により多少の違いはあるが、総体的に前年実績を確保するのが精一杯の状況が続いている。(秋田市)
サ ー ビ ス (旅館ホテル)	依然として個人客の動きは鈍く、団体ツアー客についてもバス料金の値上げ等により首都圏等遠方からの誘客に苦戦したため、売上、収益とも前年同月比で悪化した。(男鹿市)
サ ー ビ ス (一般建築)	国の公共事業の発注が低迷している中、橋梁等の維持工事の発注が増加した一方、一般土木工事等の発注が少ない状況であり、収益は前年同月比で悪化している。
建 設 業 (電気工事)	一般住宅建築が多少増加傾向にあるほか、学校をはじめとする公共物件や太陽光発電等の大型施設の導入工事も出始め、作業員の確保が難しい状況にある。(秋田市)
運 輸 業 (トラック)	輸送量は新米の出荷等もあり、まずまずの状況で推移した。なお、ドライバー不足により増車できないため稼働率が上昇傾向にあるほか、軽油価格も安定しているため、前年同月比で収益状況は改善している。(中央地区)
その他の非製造業 (砂利採取)	公共工事発注の遅れ等により資材の動きが鈍く、生コンクリート用骨材の出荷が落ち込んでいる。なお、リサイクル材の荷動きは活発な一方、バージン材の在庫を豊富に抱える状況となっている。(県南地区)



中央会事業より

組合技能・技術養成事業を開催

本会では、各業界において継承しなければならない技術・技能について熟練技能をもつ指導者から学ぶことにより、将来を担う若手技術者を育成するため、「組合技能・技術養成事業」を2組合を対象に実施しました。

秋田県自動車車体整備協同組合 ～車体整備業界に求められる今後の溶接技術等を学ぶ～

当業界では、車体素材の変化や電子化による新たな装備・備品が増加しています。

秋田県自動車車体整備協同組合(山王丸洋一理事長)では、10月15日(木)・11月10日(火)の2日間にわたり、秋田市の「秋田県立秋田技術専門校職業訓練センター」において技術研修を開催し、若手技術者など延べ47名が出席しました。

第2回研修では、ART-HIKARI株式会社代表取締役の古川一敏氏を講師に迎え、新素材である超高張力鋼板の特徴や溶接技術について実習しました。

古川氏からは、「自動車業界の時流が修理から『交換』へ変化しており、今まで以上に技術者養成のための環境づくりが求められている。今後は、多様な機械を使いこなすための技術を積極的に身につけてもらいたい。」とアドバイスがあり、今後、新素材の溶接技術を現場作業に実践していく契機となりました。



〔技術研修の様子〕

協同組合安心リフォーム協議会 ～現場で活用できる「手刻み」の技法を習得～

近年、木材の加工はプレカット機械による生産が主流である中、協同組合安心リフォーム協議会(中村瑞樹理事長)では、現場で継手や仕口の加工作業を手作業で行う技法(手刻み技法)を学ぶため、11月6日(金)・17日(火)の両日、秋田市の「秋田県立秋田技術専門校職業訓練センター」において技術研修を開催し、若手技術者など延べ14名が出席しました。

研修では、専門工具の研ぎ方や蟻継加工、鎌継加工を実践し、講師を務めた伊藤みや建築代表の伊藤實氏からは、「今回は基本的な作業を実践したが、手刻みによる加工は現場で必ず役立つ内容であるため、是非活用してもらいたい。」とアドバイスがあり、手刻みによる作業が現場で生じた際のノウハウを十分習得することができた有意義な研修となりました。



〔技術研修の様子〕

経営力強化支援事業を開催(株式会社諸井醸造)

～大手企業との取引の拡大を目指す～

秋田県味噌醤油工業協同組合(浅利滋理事長)の組合員企業である株式会社諸井醸造(諸井秀樹社長)では、大手企業との「しょつつる」の取引の拡大にあたり、バイヤーが求める品質・衛生管理基準の引き上げが喫緊の課題となっています。

そこで、11月4日(水)、男鹿市の「株式会社諸井醸造」において第4回経営力強化支援事業を開催し、自社の衛生管理基準を引き上げるための『一般衛生管理プログラム』の構築に向けた衛生管理マニュアルの最終検討を行いました。

講師を務めた株式会社ダイナミック・サニートの金澤良浩社長からは、「しょつつる製造業におけるマニュアルの策定にあたっては、自社に無理のない範囲で、かつ、将来取得を目指す秋田県版HACCPの基準を満たす必要がある。また、しょつつる製造に関連する施設や設備に限定し、管理対象となる場所や清掃頻度を適宜設定することが望ましい。」といった指摘に加え、マニュアルにおける施設設備や機械器具類、食品の衛生管理内容に関する追記・修正事項についても具体的なアドバイスがあり、衛生管理マニュアルの完成に目処が立ちました。

今後は、衛生管理プログラムの内容に基づき秋田県版HACCPの申請に向けた体制整備を行うほか、組合員企業に対し衛生管理に向けた新たな取組内容の普及を図ることで、改善の効果やノウハウ等を共有し、業界全体の衛生管理に関する意識向上に繋げることとしています。



〔第4回事業の様子〕

新理事長紹介

役員改選により、下記の方が新しく理事長に選出されましたので、ご紹介します。

協同組合秋田青果低温センター

(秋田市)

理事長 高橋 良治さん

組合員名：丸果秋田県青果株式会社

役 職：代表取締役

改 選 日：平成27年10月20日

－会員組合の皆様へ－

本コーナーでは、会員組合の理事長交代について紹介しております。

今後、新しい理事長が選出された場合は、本会企画広報課(☎018-863-8701)までお知らせ下さい。

併せて、組合活動の様子やイベント開催等の情報も多数お寄せ下さい。

支援団体活動レポート

JA全農あきたとの情報交換会が開催

～あきた食品振興プラザ～

11月4日(水)、秋田市の「イヤタカ」において、あきた食品振興プラザ(後藤一会長)と全国農業協同組合連合会秋田県本部(杉山昌史県本部長)との情報交換会が開催され、関係者等12名が出席しました。

この情報交換会は、当プラザに所属する業界団体とJA全農あきたとの相互理解と情報共有を通じ、地域資源の有効活用に結びつけるため開催されたもので、米穀・園芸等の県内農産物に関する情報交換がなされたほか、使用農産物の品質向上や安定供給に向けた方策等について活発な意見交換が行われ、新たな取引等に繋げる第一歩となりました。

今後は、生産者側と業界団体とがWin-Winの関係になれるよう、農産物別に食品製造業者や農業団体、行政等を交えた懇談会を開催し、品質向上や安定供給、取引価格など具体的な課題の解決に向けた検討を行っていくこととしています。



[情報交換会の様子]

秋田県外国人技能実習生日本語スピーチ&日本の歌コンテストが開催

～秋田県外国人技能実習生受入組合連絡協議会～

11月21日(土)、秋田市の「イヤタカ」において、秋田県外国人技能実習生受入組合連絡協議会(佐賀善美会長)の第2回秋田県外国人技能実習生日本語スピーチ&日本の歌コンテストが開催され、会員団体から10組12名が出場しました(中国出身6名、フィリピン出身6名)。

当コンテストは、外国人技能実習生を対象にコミュニケーションの要となる日本語能力の向上を目的に開催され、出場者はそれぞれが好きな日本の歌を歌い、日本の四季や日本ならではの文化や風習について感じたこと及び今後の目標等について日本語でスピーチを行いました。

その後、審査員として佐賀会長のほか、佐々木繁治秋田県アパレル産業振興協議会会長、畠山頼仁本会事業振興部長が審査を行った結果、テレサ・テンの「別れの予感」を歌ったバカング フェレン アラベさん(秋田中日経済交流協同組合)が最優秀賞を受賞したほか、スピーチ特別賞1名、歌唱特別賞1名、努力賞3名、奨励賞4名を決定し、表彰状と副賞として金一封をそれぞれ贈呈しました。

当協議会では、外国人技能実習生受入事業の円滑な実施を支援するため、今後も同様のコンテストを継続していくこととしています。



[最優秀賞を受賞したバカングさん]

「秋田県人口ビジョン」と「あきた未来総合戦略」を策定しました！（秋田県）

秋田県では、「人口減少の克服」と「秋田の創生」を実現するため、人口の動向分析や将来展望をまとめた「秋田県人口ビジョン」と、今後5年間（平成27年度～平成31年度）の基本目標と施策・事業をまとめた「あきた未来総合戦略」を策定しました。

☎「秋田県人口ビジョン」、「あきた未来総合戦略」及び「概要版」は、下記の秋田県ホームページよりダウンロードできます。

[ホームページ] <http://www.pref.akita.lg.jp/www/contents/1445557443785/index.html>

[お問い合わせ先] 秋田県企画振興部 総合政策課 ☎018-860-1217

国による地方創生の取組を受け、秋田県では「あきた未来総合戦略」を策定し、成長産業の振興と専門人材の育成などを重点施策として、人口減少の克服や持続可能な秋田の創生に向けて全力で取り組むとともに、平成26年4月1日に施行された「秋田県中小企業振興条例」に基づき、個々の企業のチャレンジ等をきめ細かにサポートしていくこととしています。

本会では、次月号以降の誌面で、「秋田県人口ビジョン」及び「あきた未来総合戦略」の概要についてご紹介いたします。

新たに「マイナンバー総合フリーダイヤル」を開設しました（内閣官房）

内閣官房では11月2日（月）より、これまでの制度全般のコールセンターと通知カード・個人番号カードに特化したコールセンターを統一した無料の「マイナンバー総合フリーダイヤル」を開設しています。

[マイナンバー総合フリーダイヤル] 0120-95-0178（無料）

※平日 9:30～22:00 土日祝 9:30～17:30（年末年始12月20日～1月3日を除く）

☎ 「通知カード」「個人番号カード」に関することや、その他マイナンバー制度に関するお問い合わせにお答えします。

☎ 音声ガイダンスに従って、お聞きになりたい情報のメニューを選択して下さい。

☎ 既存のナビダイヤルも継続して設置しています。こちらの音声案内でもフリーダイヤルを紹介しています。

詳しくは、以下の内閣官房のマイナンバーに関するホームページをご覧ください。

[ホームページ] <http://www.cas.go.jp/jp/seisaku/bangoseido/>

『一般事業主行動計画』を策定しましょう（秋田県）

次代の社会を担う子どもが健やかに生まれ、育成される環境の整備を行うため平成15年7月に成立した次世代育成支援対策推進法（以下、「次世代法」という。）の有効期限が平成37年3月31日まで10年間延長されています。

この法律では、県や国による取組だけでなく、101人以上の労働者を雇用する事業主は、労働者の仕事と子育ての両立を図るための「一般事業主行動計画」を策定し、速やかに届け出なければならないとされているほか、雇用する労働者が100人以下の事業主も、同様の努力義務があるとされています。

＜一般事業主行動計画の認定制度とは＞

一般事業主行動計画を実行し、計画に定めた目標を達成するなど、一定の要件を満たす場合は、申請を行うことにより、都道府県労働局長の認定を受けることができます。

認定を受けた事業主は「認定マーク」（愛称：くるみん）を広告や商品、封筒などにつけることができ、「子育てサポート企業」であることをアピールすることができます。

[お問い合わせ先] 秋田県企画振興部 人口問題対策課 ☎018-860-1248

※一般事業主行動計画の届出や認定の手続については、秋田労働局 雇用均等室にお問い合わせ下さい。

秋田労働局 雇用均等室 ☎018-862-6684

官公需適格組合

『カデル』

秋田管工事業協同組合

理事長 高橋正男
副理事長 山岡緑三郎
" 本多秀文

秋田市山王臨海町3番18号

☎018(862)6161/FAX 018(824)5685

株式会社 八幡平貨物

八幡平貨物整備工場

一般貨物輸送 長距離輸送 産業廃棄物収集運搬
クレーン作業(25tラフター 13tラフター ユニツク車)
ダンプ 木材(生産・運搬)

〒018-5141 秋田県鹿角市八幡平字谷内下モ平116-12
TEL.0186-34-2011

地域と共に



秋田県遊技業協同組合

わたしたちは、地域の皆様が安全で安心して
パチンコ・パチスロを楽しめる憩いの場づくり
に取り組んでいる団体です。

また、社会貢献活動や暴力団排除活動等にも
力を入れております。

秋田県遊技業協同組合

理事長 新井 昌吉

改訂 あきた郷味 風土記

秋田県農山漁村
生活研究グループ
協議会発行

A4判116頁
フルカラー

[販売価格]

2,160円
(税込)



秋田竿燈まつり カレンダー

秋田市竿燈会
監修

A2判13枚綴り
フルカラー

[販売価格]

1,500円
(税込)



お申し込み・お問い合わせは

 秋田活版印刷株式会社

〒011-0901 秋田市寺内字三千刈110-1 <http://www.kappan.co.jp/>
[TEL]018-888-3500(代) [FAX]018-888-3505

相続・事業承継のご質問・ご相談を
お気軽にどうぞ!!

保険&リース
 株式会社 北日本ベストサポート

〒010-0967
秋田市高陽幸町8番17号
TEL.018-883-1888
FAX.018-883-1822
URL <http://www.knbs.jp>

全国中小企業団体中央会・全国商工会議所 会員の皆様へ

業務災害補償制度、取引信用保証制度

もしものために

生保・損保 (加入見直し)

引受保険会社

損害保険ジャパン日本興亜株式会社



保険と暮らしの相談センター

株式会社 **アキタ保険**

秋田市山王6丁目5-9

TEL.018-864-6921

FAX.018-864-6922

URL <http://akitahoken.co.jp>

SJNK15-04655 (2015.7.9作成)

人の輪を大切にし、建築の輪を広げる会社

千代田興業株式会社

代表取締役社長 藤澤正義

本社・工場：秋田市川尻町字大川反 170-49 TEL 018(864)6200(代)

建設事業部：秋田市川尻町字大川反 170-19 TEL 018(888)3666

URL：http://www.k-chiyoda.jp

For Earth, For Life
Kubota

野菜と暮らそう。



まごころと技術でこたえる・・・

株式会社 秋田クボタ

〒011-0901 秋田市寺内宇神屋敷295-38
Tel: 018-845-2121 Fax: 018-845-6800

出向・移籍の専門機関

公益財団法人 産業雇用安定センター

従業員の再就職や出向を無料で支援します

人材を必要としている企業の皆様へ

「全国から就業可能な方を
ご紹介します」

「受入したい、という情報を
募っています」

雇用調整を検討している企業の皆様へ

「一定期間の出向受入先を斡旋し、
雇用を守ります」

「やむを得ない場合は
移籍再就職先を紹介します」

公益財団法人産業雇用安定センターのプロフィール

- 経済・産業団体と厚生労働省の協力で設立された公益法人です
- 全国ネット、47都道府県の事務所でサポート
- 費用はかかりません



公益財団法人産業雇用安定センター
秋田事務所

〒010-0951
秋田県秋田市山王3丁目1-7 東カンビル4階
TEL.018-823-7024 FAX.018-883-4215